

令和6年度 海上保安庁関係補正予算の概要

外交・安全保障環境の変化への対応、防災・減災、国土強靱化の推進など、
国民の安全・安心の確保等

令和6年度補正予算額 912億円

1 海上保安能力の強化等		794億円
(1) 新たな脅威に備えた高次的な尖閣領海警備能力		225億円
・ 大型巡視船	新規	1隻 53億円
・ ヘリコプター搭載型巡視船 (令和4年度補正予算)	継続	1隻 49億円
・ 大型巡視船 (令和3年度補正予算、令和4年度補正予算)	継続	3隻 123億円
(2) 新技術等を活用した隙の無い広域海洋監視能力		299億円
・ 無操縦者航空機	新規	3機 218億円
・ 中型ジェット機 (令和5年度補正予算)	継続	2機 38億円
・ 中型ヘリコプター (令和4年度補正予算、令和5年度補正予算)	継続	5機 39億円
・ ドローン対策資機材の整備		1億円等
(3) 大規模・重大事案同時発生に対応できる強靱な事案対処能力		17億円
・ 大型巡視船 (令和6年度予算)	継続	1隻 17億円
(4) 戦略的な国内外の関係機関との連携・支援能力		1.3億円
・ 自衛隊との秘匿通信の強化		1.0億円
・ 国民保護活動のための資器材整備		0.3億円
(5) 海洋権益確保に資する優位性を持った海洋調査能力		2.7億円
・ 地殻変動観測のための資器材整備		1.5億円
・ 領海基線調査のための資器材整備		1.3億円
(6) 強固な業務基盤能力		242億円
・ 小型巡視船(代替)	新規	1隻 3.9億円
・ 小型巡視艇(代替)	新規	3隻 21億円
・ ヘリコプター搭載型巡視船(代替) (令和3年度補正予算)	継続	1隻 86億円
・ ヘリコプター搭載型巡視船(代替) (令和6年度予算)	継続	1隻 31億円
・ 戦略的アセット管理による巡視船の長寿命化等の船艇・航空機の修繕		62億円
・ 情報通信システムの強靱化(秘匿通信の強化・サイバー対策)		35億円
・ 教育訓練資機材等の整備		2.4億円等
(7) 治安・救難・防災業務の充実等		7.2億円
2 人的基盤の強化		13億円
(1) 勤務環境の改善・処遇向上		12億円
(2) 人材確保		0.7億円
3 能登半島地震など自然災害からの復旧		10億円
4 防災・減災、国土強靱化の推進		1.4億円
航路標識の耐災害性強化対策等		1.4億円
5 行政分野におけるデジタル化の推進		3.4億円
6 原油価格高騰への対応		90億円

注) 端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。